

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	18
	令和	2年 11月26日
	午前・午後	3時00分

議会名	令和 2 年 第 8 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	6番 早川 貴光	
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ <input type="checkbox"/> モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 人口減少への取り組みについて (1) 佐野市人口ビジョンについて (2) 年齢階級別純移動数の時系列分析からみる佐野市について	①年齢階級別の人口移動をみると男女とも転入は20代30代が多くなっています。しかし、それ以上に20代の転出が圧倒的に多くなっています。主な要因について見解をお伺いします。 ②男女別の年齢階級別の人口移動数について男女とも20歳～29歳の転出超過が著しく、特に女性の転出超過は男性と比較しても顕著であります。その要因について見解をお伺いします。 ①年齢階級別国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査」による年齢階級別純移動数の時系列分析をするため地域経済分析システムRESASを使用してグラフ化すると、過去のデータと比べて2010年から2015年は15～19歳→20～24歳の純移動数のマイナス幅が大きく減少している。その要因について見解をお伺いします。		

(3) 第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

②2010年から2015年は20～24歳→25～29歳の純移動数のプラス幅が過去のデータと比べて大きく減少しています。その要因について見解をお伺いします。

①基本目標「新しい人の流れをつくる」の人口の動向と第1期総合戦略の振り返りの中で、「本市では20代男女の首都圏への転出超過になっており、特に女性は転出超過が拡大する傾向がみられる」と書かれています。転出超過に対する具体的な対応策として特に注力している事業についてお伺いします。

②「一方、30～40歳代及び10歳代や60歳以上は転入超過の傾向となっており、ファミリー層や高齢者世代と想定されます。」とかかかれています。基にしたデータや調査があればお伺いします。

③《基本目標3結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる》の数値目標の検証と具体的施策の実績振り返りにおいて、出生者に占める第3子の割合、の目標値を直近値が超えているのにもかかわらず、合計特殊出生率の目標値に大幅に届かない状況にありました。見解をお伺いします。